

臨床実習	有床義歯補綴学
------	---------

[実習] 第5学年 前後期 必修

《担当者名》歯科クリニック

教授/越野 寿 准教授/豊下 祥史 講師/川西 克弥 助教/佐々木 みづほ 助教/菅 悠希  
 助教/竹田 洋輔 助手/木村 聡 助手/佐藤 夏彩  
 大学病院  
 教授/川上 智史 教授/會田 英紀 講師/塚越 慎 助教/尾立 光

【概要】

シミュレーション実習では、部分歯列欠損症例の診察、治療計画の立案、義歯の設計などを理解するとともに、基礎実習で習得した知識・技術との統合を図る。また、相互実習を通じて実際の臨床と結びつける。診療参加型実習では、インストラクターの指導のもと積極的に外来診療に携わり、無歯顎補綴及び部分欠損補綴の典型的な症例から、多くの前処置を要する難症例に至るまで幅広い知識と技術を習得する。さらに、有病高齢者に対する歯科的対応（訪問歯科診療、摂食・嚥下訓練、口腔ケア、義歯ケアなど）について、実際の現場やより実践に近い環境下において学修し、超高齢社会に対応できる歯科医師としての役割を認識する。

【学修目標】

- 有床義歯補綴治療のための診察、診査、診断ができ、それに基づいた基本的な義歯設計を適切にする。
- 適切なサベヤー操作および各部品の使用用途を説明する。
- 有床義歯補綴治療のための印象採得が適切にする。
- 義歯設計に応じた支台歯のプレパレーションを適切に実施する。
- 咬合採得と人工歯選択を適切に実施する。
- ろう義歯試適を適切に実施する。
- 完成義歯を適切に装着し、義歯の使用上の注意点について説明する。
- 義歯装着後の定期検診について説明する。
- 義歯修理を適切に実施する。
- 口腔管理プランを策定する。
- 器質的口腔ケア及び機能的口腔ケアについて説明する。
- 義歯管理及び清掃方法について説明する。
- 訪問歯科診療について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	総合 臨床実習説明・歯科クリニック外来説明・訪問歯科診療説明	臨床実習の進め方や注意事項、歯科クリニック外来及び訪問歯科診療における見学・介助・自験の方法について説明を受け、これらを理解するとともに、実習に必要な知識の整理と実習器具・器材を準備する。	越野 寿 會田 英紀 川西 克弥
全実習 期間	シミュレーション実習 1. 部分歯列欠損症例に対する診査 2. 部分歯列欠損症例の概形印象採得及び研究用模型の製作 3. 部分歯列欠損症例の義歯の設計、治療計画立案 4. 部分歯列欠損症例の支台歯形成と筋圧形成 5. 全部床義歯の義歯修理 6. 複製義歯を用いたダイナミック印象 7. 全部床義歯のろう義歯試適 8. ヒト型患者ロボットに対する概形印象採得	有床義歯補綴治療に先立ち、主訴の同定、問診、視診、触診、聴診、打診による診査事項、X線写真や研究用模型（診断用模型）による診査事項について理解する。 PCT模型を用いて部分歯列欠損症例の概形印象採得を行い、その方法及び使用材料について理解する。 概形印象採得後、研究用模型を製作し、サベヤーを用いてサベイングを行う。基本的な義歯の設計を根拠とともにレポートにまとめる。さらに、一口腔として捉えた治療計画の立案も併せてまとめ、ディスカッションを行う。 義歯の設計に応じた支台歯のプレパレーションを行う。 Kennedy 級1類の下顎筋圧形成用PCT模型を用いて、筋圧形成を行う。 全部床義歯の破折に対する修理方法について習得する。 複製義歯を用いたダイナミック印象による義歯製作方法について習得し、ろう義歯試適までの流れを理解する。 ヒト型患者ロボット（無歯顎高齢者）に対し概形印象採得を行い、より臨床に近いシミュレーション実習を体験する。	越野 寿 會田 英紀 豊下 祥史 川西 克弥 佐々木 みづほ 菅 悠希 竹田 洋輔 木村 聡 佐藤 夏彩

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		F-1-1)、F-1-2) 、F-2-2) 、F-3-1) 、F-3-2) 、F-3-4)	
	相互実習 1. 概形印象採得 2. 咬合採得 3. 筋圧形成 4. GoA描記 5. 咬合・咀嚼機能検査 6. 摂食・嚥下訓練、口腔ケア 7. 義歯ケア	有床義歯補綴治療の一連の中で必要とされる知識、技術を習得する。 咬合・咀嚼機能について、各種検査機器を用いて評価し、検査結果及び考察をレポートにまとめる。 摂食・嚥下訓練、口腔ケア、義歯ケアに関する知識、技術を習得する。 有病模擬患者の口腔アセスメント表から、適切な口腔ケアの方法をまとめ、ディスカッションする。 F-1-1)、F-1-2) 、F-2-1)、F-2-2) 、 F-3-1) 、F-3-2) 、F-3-4)	越野 寿 會田 英紀 豊下 祥史 川西 克弥 佐々木 みづほ 菅 悠希 竹田 洋輔 木村 聡 佐藤 夏彩
	臨床ゼミ 症例報告会	有床義歯補綴治療に関する臨床ゼミや症例報告会を行い、ディスカッションを行うとともに臨床推論能力を高める。 F-3-4)	越野 寿 會田 英紀 豊下 祥史 川西 克弥 佐々木 みづほ 菅 悠希 竹田 洋輔 木村 聡 佐藤 夏彩
	訪問歯科診療	疾病や傷病のため歯科医院への通院が困難とされる患者に対し、歯科医師・歯科衛生士とともに在宅医療を体験学習し、必要な知識・技術について理解する。 F-3-7)	越野 寿 會田 英紀 川上 智史 塚越 慎 尾立 光

#### 【評価方法】

臨床実習 で課せられた課題とケース数の総合評価

注1：未修了の場合、総合学力試験の受験資格が与えられない。

注2：総合学力試験として当科目領域の多肢選択式問題を出题し、正答率60%以上を合格とする（出題数は別途提示）。

#### 【教科書】

「スタンダード部分床義歯補綴学」藍 稔、五十嵐 順正 編 学建書院

「無歯顎補綴治療学」細井 紀雄、大川 周治、平井 敏博、市川 哲雄 編 医歯薬出版

「歯科補綴学専門用語集」日本補綴歯科学会 編 医歯薬出版

#### 【参考書】

「歯学生のパーシャルデンチャー」三谷 春保、小林 義典、赤川 安正 編 医歯薬出版

「パーシャルデンチャーテクニック」五十嵐 順正、石上 友彦、大久保 力廣、岡崎 定司、馬場 一美、横山 敦郎 編 医歯薬出版

「老年歯科医学」森戸 光彦、山根 源之、桜井 薫、羽村 章、下山 和弘、柿木 保明 編 医歯薬出版

「部分床義歯補綴学実習」北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系咬合再建補綴学分野 編

「全部床義歯補綴学実習」北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系咬合再建補綴学分野 編

#### 【学修の準備】

自験、介助、見学を行う症例について、その内容をインストラクターから事前に確認し、その症例に関わる内容を復習する。（80分）

自験、介助、見学後は、症例内容についてレポートを作成したうえ、インストラクターとディスカッションを行う準備をする。（80分）

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を、臨床実習を通じて修得する（専門的実践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を、臨床実習を通じて身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を、臨床実習を通じて身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を臨床実習を通じて

実践する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域のおよび国際的な視野で活躍できる能力を臨床実習を通じて身につける（社会的貢献）。

**【実務経験】**

越野 寿（歯科医師）、豊下祥史（歯科医師）、川西克弥（歯科医師）、佐々木みづほ（歯科医師）、菅 悠希（歯科医師）、竹田洋輔（歯科医師）、木村 聡（歯科医師）、佐藤夏彩（歯科医師）、川上智史（歯科医師）、會田英紀（歯科医師）、塚越 慎（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床実習実習 において、歯科医師としての実務を通じて、無歯顎者や部分無歯顎者に対する治療についての知識、技術、態度を学習者が修得する教育を行う。